



4月1日現在在籍数 284名

気仙沼市立松岩小学校

■ 本校の教育目標 ■

志を持ち、  
かしこく、やさしく、たくましく  
生きる児童の育成

令和6年度 学校だより NO. 1

令和6年4月9日(火)発行

「全力!」「磨く!」「挑戦!」 本年度もよろしくお願いいたします

気仙沼市立松岩小学校 校長 佐々木 裕作

本校校長の佐々木裕作と申します。松岩小学校でお世話になって3年目を迎えました。

昨年度は、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りましたことに、改めて感謝申し上げます。本年度もよろしくお願いいたします。

昨日は、令和6年度の始業式。朝から、校舎内外に子供たちの元気のよい声が響き渡っていました。街頭指導をしている時には、「おはようございます。」と元気に挨拶をしてくれる子どもたくさんいました。子供たちの明るく、元気な声を聞きながら、「さあ、新年度。子供たちのために頑張らねば。」と気持ちを新たにしたところです。

始業式で、私から子供たちに、標題にある3つの言葉を伝えました。

一つ目は、「全力」です。この言葉は、これまでも子供たちに伝えてきた言葉です。勉強も全力、運動も全力、遊びも全力。何事も全力で取り組んでほしいこと、全力で取り組むことで自分の力が伸びること、そして、全力で取り組んだ失敗は、自分を成長させるよい失敗であることを子供たちに伝えました。

二つ目は、「磨く」です。この言葉も子供たちに伝えてきた言葉です。将来、輝く自分になるためには、今の自分を磨くことが大切であることを子供たちに伝えました。そのためには、何事にも努力を惜しまず、全力で取り組み、頭を磨き、心を磨き、体を磨いてほしいと思っています。

三つ目は、「挑戦」です。この言葉は、今年度初めて子供たちに伝えた言葉です。「挑戦」には、「困難なことや新しい記録などに立ち向かう」という意味があります。自分の得意なことを更に伸ばすために挑戦することもよいだろうし、苦手なことを克服するために挑戦することもよいと思います。何事も「まず、やってみよう」の気持ちで取り組んでほしいと思っています。

児童代表として、2年生と6年生の代表が新しい学年で頑張りたいことを発表しました。二人とも自分の目標をはっきりと話すことができ、大変立派でした。二人とも、勉強で頑張りたいことの他に、お兄さん、そして、最高学年として、下学年のお世話を頑張りたいということを話していました。年下の子を思いやる優しさが強く感じられ、とてもうれしく思いました。

始業式後は、各学級で学級開きを行いました。短時間でしたが、子供たちにも先生方にも笑顔が見られ、よいスタートを切ることができたようでした。

その後、入学式を行いました。今年度の入学児童は27名で、昭和、平成、令和と一学年複数学級だった本校も、いよいよ単学級の時代を迎えました。広い体育館に余裕を持って配置された座席を見て、ちょっと寂しい気持ちにもなりました。

1年生の子供たちは、担任の呼名に「はい。」と元気よく返事をし、式に臨む態度も落ち着いており、とても立派でした。式後は、学級活動を行い、これからの学校生活について担任より説明をしました。

令和6年度は、裏ページにありますように、34名の教職員で284名の子供たちの指導に当たってまいります。子供たちがよりよく成長できるよう、職員一丸となって努力してまいります。一年間、よろしくお願いいたします。